

	I期（4～7月）	II期（8～11月）	III期（12～3月）
<p>健康・生活</p> <p>健康状態の維持・改善／生活のリズムや生活習慣の形成／基本的生活スキルの獲得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時、毎回体温測定や口頭での質問により、健康状態を確認する ・食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する ・音の泉での生活の流れに慣れる ・自分の持ち物と人の持ち物の区別をつける 	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時、毎回体温測定や口頭での質問により、健康状態を確認する ・食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する →長期休暇時にリズムが崩れないよう家庭支援も行う ・暑さなどにより体力を消耗しやすい時期であることを考慮した活動内容を考えたり、適宜休憩や水分補給を促す ・暑さや寒さを感じた際に衣服の調節が出来るよう、支援する ・自分の持ち物を管理し、まとめて整理しておくよう支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時、毎回体温測定や口頭での質問により、健康状態を確認する ・食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する →長期休暇時にリズムが崩れないよう家庭支援も行う ・暑さや寒さを感じた際に衣服の調節が出来るよう、支援する ・自分の持ち物を管理し、まとめて整理しておくよう支援する
<p>運動・感覚</p> <p>姿勢と運動・動作の向上／姿勢と運動・動作の補助的手段の活用／保有する感覚の総合的な活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動の中に運動療育を計画的に取り入れ、筋力の維持、強化を図る →（音楽サーキット） ・積極的に戸外に出かけたり、水遊びを通して運動機能の向上を図る ・音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ（まねっこボール／リズムダンス／リトミック） ・リトミックによりジャンプする、かがむなどの運動を促す ・絵描き歌や制作活動を通して、丸・三角・四角の形の違いを伝え、模倣しながら描けるよう支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動の中に運動療育を計画的に取り入れ、筋力の維持、強化を図る →（音楽サーキット） ・積極的に戸外に出かけたり、水遊びを通して運動機能の向上を図る ・音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ（まねっこボール／リズムダンス／リトミック） ・リトミックにより音楽に合わせて自分の動きを制御することが出来るよう、支援する（歩く曲・走る曲の違い、大きくなる・小さくなるの違い） ・制作活動を通して、のりやハサミの使い方をスタッフと一緒に扱うことで学んでいけるよう支援する ・直線と波線の違いや書き方を絵描き歌より学んでいけるよう、工夫して取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動の中に運動療育を計画的に取り入れ、筋力の維持、強化を図る →（音楽サーキット） ・音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ（まねっこボール／リズムダンス／リトミック） ・リトミックにより音楽に合わせて自分の動きを制御することが出来るよう、支援する（音が止まると動きを止める、ピアノの音の数だけ手を叩く） ・模倣しながら複数の形を組み合わせる絵を描けるよう、題材を工夫して活動に取り入れていく（制作活動・絵描き歌）
<p>認知・行動</p> <p>認知の発達と行動の習得／空間・時間、数等の概念形成の習得／対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて止まる、動くことで自己抑止力を高める。 ・行動内容の掲示、事前の声掛けにより、行動への意識付けと切り替えが出来るよう支援する ・形の大きさ、色の違い等の習得を意識した内容を音楽サーキットに取り入れる ・静と動の活動を交互に組み合わせたプログラムを行うことで、場面切り替えする力を身につけられるよう支援する ・季節に沿った内容の活動を取り入れ、季節感を感じる事が出来るよう支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて止まる、動くことで自己抑止力を高める。 ・行動内容の掲示、事前の声掛けにより、行動への意識付けと切り替えが出来るよう支援する ・数の違いや指定した数を選択する活動を行うことで、数量の違いや数の認識を学べるよう活動内容に取り入れていく（音楽サーキット、パネルシアター） ・静と動の活動を交互に組み合わせたプログラムを行うことで、場面切り替えする力を身につけられるよう支援する ・季節に沿った内容の活動を取り入れ、季節感を感じる事が出来るよう支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて止まる、動くことで自己抑止力を高める。 ・行動内容の掲示、事前の声掛けにより、行動への意識付けと切り替えが出来るよう支援する ・時間の見方やその時間に主に行う行動を音楽活動を通して学べるよう、活動内容に取り入れていく（まねっこボール（時計編）、パネルシアター） ・色の違いやものの種類わけなどを意識した内容を音楽サーキットに取り入れる ・静と動の活動を交互に組み合わせたプログラムを行うことで、場面切り替えする力を身につけられるよう支援する ・季節に沿った内容の活動を取り入れ、季節感を感じる事が出来るよう支援する
<p>言語</p> <p>・コミュニケーション</p> <p>言語の形成と活用／言語の受容及び表出／コミュニケーションの基礎的能力の向上／コミュニケーション手段の選択と活用空間・時間、数等の概念形成の習得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中の質疑応答や名前を発表する機会をつくることで、自発的な発声を促す ・個々の特性に合わせて、話す速度の加減、ジェスチャー（指差し、身振り、サイン等）を用いたやり取りにより、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う ・歌の前の発声を促す活動（あいうべ体操・パタカラ体操）を通して、口の動かし方や発声の仕方を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中の質疑応答や名前を発表する機会をつくることで、自発的な発声を促す ・個々の特性に合わせて、話す速度の加減、ジェスチャー（指差し、身振り、サイン等）を用いたやり取りにより、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う ・歌の前の発声を促す活動（あいうべ体操・パタカラ体操）を通して、口の動かし方や発声の仕方を知る ・早口言葉や回文を活動に取り入れ、細かく口を動かす機会を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中の質疑応答や名前を発表する機会をつくることで、自発的な発声を促す ・個々の特性に合わせて、話す速度の加減、ジェスチャー（指差し、身振り、サイン等）を用いたやり取りにより、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う ・歌の前の発声を促す活動（あいうべ体操・パタカラ体操）を通して、口の動かし方や発声の仕方を知る ・早口言葉や回文を活動に取り入れ、細かく口を動かす機会を作る
<p>人間関係・社会性</p> <p>他者との関わり（人間関係）の形成／自己の理解と行動の調整／仲間づくりと集団への参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフとの関わりから少しずつ周りのお友だちへの興味を育む ・活動や遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する ・支援者を介して自分のできること、できないことなどに気づき、困ったことがあったらどのように周りに伝えたらいいかを実際に見本として見せて教える ・少人数の集まりでの遊びを通して、約束やルールを学べるようにする ・スタッフが仲立ちとなり、相手の気持ちに気づくよう支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが仲立ちとなりながら、お友だちと関わり一緒に行動したり、遊びを楽しむ ・活動や遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する ・ペアと一緒に活動に参加することで、相手に合わせることを学ぶ機会をつくる（レク・音楽サーキット） ・スタッフが仲立ちとなり、相手はどんな気持ちでいるかを考えられるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが仲立ちとなりながら、お友だちと関わり一緒に行動したり、遊びを楽しむ ・お友だちとの関わりの中で集団としてのルールを学べる機会を作る ・活動や遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する ・ペアと一緒に活動に参加することで、相手に合わせることを学ぶ機会をつくる（レク・音楽サーキット） ・相手の気持ちに気づき、受け入れたり、譲ったり出来るようになるよう、見守りながら適宜助言を行う。